

平成 31 年度

筑波大学大学院
ビジネス科学研究科企業法学専攻
入学試験問題

[小論文]

(2018 年 9 月実施)

[注意事項]

答案用紙は、2 枚使用し、裏面は使用しないこと。

問題

次の文章は、塩野七生『皇帝フリードリッヒ二世の生涯（上）』（新潮社、2013）から抜粋し、出題用に編集を加えたものである。これを読んで、後の問に答えなさい。

本文については、著作権法により
公表していません。

- 問1** 下線部①につき、法王グレゴリウス九世は、何故フリードリッヒの「メルフィ憲章」がキリスト教世界の秩序の破壊であると考えたのか、その理由について述べなさい。
- 問2** フリードリッヒとグレゴリウス九世の法についての考え方はどう違っていたかについて述べなさい。
- 問3** 下線部②につき、「悪魔的なところなどまったくなく、清廉潔白でまじめで信仰心も厚い」人間が、法の執行という名目の下に残酷な行為を行い得る理由について、著者はどのように考えているか述べなさい。
- 問4** 現代においても、法やルール（それが国家の法律であるか、その他の共同体のルールであるかを問わず）の忠実な執行として、残酷な行為が行われることがある。その例を挙げるとともに、どうすればそのようなことが起こらないようにできるかについての、あなたの考えを述べなさい。